



陵南小学校
校長 清水 勉

本校では、子ども達の思いやりの心を育んでいくために、子ども達、全校職員、保護者や地域の方々に「よいところみつけ」を呼びかけ、より広く、より多く子ども達の道徳的価値ある姿の情報を集めています。(下校中に転んで怪我をした子をおんぶして送り届ける高学年) (子猫を拾って飼い主を捜して歩く女の子たち) (下校途中の突然の雨、なかよく相合ひ傘で帰る姿)などの情報が集まっています。学校内だけでなく地域での子ども達の生き生きとした道徳性あふれる姿が浮き彫りになるとともに、お昼の放送や掲示での紹介が励みとなり、子ども達の思いやりの行動が広まっています。

学校行事を通しての福祉教育と道徳教育も実施いたしました。例えば11月の「地域ふれあい陵南広場」では、6年生が校区の独居老人の方々に案内を郵送しましたが、それに応えて来校してくださった方がぜひ本人にお礼を言いたいと申し出られ、対面しふれあいを深めることができました。5年生は、総合的な学習の時間に福祉をテーマにして老人ホーム(ジョイフル各務原)の方々と交流していますが、自分の部屋に来てくれた児童に手作りのお土産を持って、車椅子で参加してくださったご老人と交流を深めることができました。このような地域の方々とのふれあいから、子ども達は、心の交流の心地よさを味わい、共生という福祉の心を学んでいます。



収穫祭

また、中央中校区4校が連携して、地域ぐるみの道徳教育の充実に取り組んできました。共通指導の重点を「思いやり」とし、共通の実践「あいさつ運動」を展開しました。7月の保護者や地域の方々に参加していただいた「子育て交流会」で、挨拶の必要性と大人の手本が話題になり、登下校時に声かけをしていただいておりましたが、それに拍車をかけたのが本年度発足した「通学路見守り隊」です。い

つも見守り、「おかえり」の声を掛けてくださる方々から、思いやりの心を学んでいます。

思いやりの心は、子どもの生活の場である学校・家庭・地域の人との関わり合いを通して育まれています。そして、私たち大人が積極的に、子ども達のがんばりや思いやりの行動を見つけ、価値付け、讃めることによって、それは子ども達の心に喜びとなって還元され、より豊かな心育てにつながっていくと信じます。

本校の教育活動に対し、多大なご理解とご協力を頂いております地域の方々に、厚くお礼を申し上げますとともに、今後ともお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。

民生委員のお勤めご苦労様でした

■吉岡愛子さん(朝日町1丁目担当)

この度は民生児童委員を退任させていただきました。在任中は大勢の皆様とふれあい、交流ができましたことを私の宝として忘れないようにしたいと思っております。

いろいろご支援ご協力いただきましたことを深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

■吉山久美さん(朝日町5丁目東担当)

このたび民生委員を退任することになりました。在任中は微力な私にご協力ください、また、社会福祉の勉強をさせていただきました。「温もりとやすらぎのあるまちづくり」を忘れないよう、これからは支部社協のご活躍をかけながら応援させていただきます。

本当にありがとうございました。

■山田幸子さん(大伊木担当)

民生児童委員在任中は、地域の皆様には大変お世話になりました。社協の活動も毎年充実し、近年はボランタリーハウスの設立が推進されています。大伊木町で平成16年6月ボランタリーハウス「あじさい」が発足いたしました。月2回の開催で30~40名の参加者があります。自治会やシニアクラブの協力を得て、近隣ケアの皆さんにお世話をされておられます。お茶やお菓子、寒い時期には甘酒などを出していただき、カラオケ、輪投げにゲームなどと楽しい一時を過ごすことができました。これが明るく温もりのある地域社会福祉活動だと思います。最後になりますが、皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。

社協

陵南支部だより

第 22 号

平成17年3月15日発行



各務原市社会福祉協議会
陵南支部

ふれあい

社会福祉協議会
陵南支部長 岡谷昭二



昨年3月、思いがけず、社協の支部長と青少年育成市民会議の陵南小校区推進委員長に指名され、何から手をつけてよいやら大変戸惑いましたが、このふたつに共通するキーワードは「ふれあい」であると思い当たりました。

大牧団地と大伊木におけるボランタリーハウス(昨年度までの「ふれあいいきいきサロン」)の設立や、従来の市民運動会に代わる陵南ふれあいフェスティバルへの参画のほか、朝日町と大伊木の敬老の集いに從来以上に深くかかわるなど、高齢者が同年代あるいは若い世代の人たちとのふれあいを深めることのできる事業に注力してまいりました。

高齢化が急速に進みつつある現在、高齢者福祉がひとつの重要な課題であることは当然ですが、社協が取組むべき課題は他にも数多くあるように思います。

障害者福祉もそのひとつです。支部役員の研修会では、知的障害者育成会の方を講師にお招きして、障害者の状況について学びました。



慈光園訪問

また昨年11月に県の社協が主催した「福祉のまちづくりフォーラム」では、子育てに悩む若いお母さん方への支援が大きくとり上げられておりました。

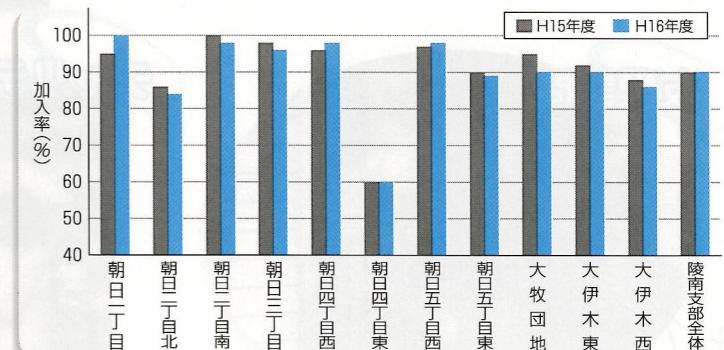
いずれも難しい課題ですが、まずは福祉活動の対象とすべき課題について、理解を深める必要があると感じました。

社協の活動は地域福祉にとって益々重要になってまいります。

皆様の一層のご支援とご協力を切にお願いします。終わりに、日頃のご協力に感謝申し上げるとともに皆々様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

平成16年度 陵南支部の会員・会費実績

	平成15年度	平成16年度
一般会員数 (前年比)	1,459 (-2.4%)	1,502 (+2.9%)
特別会員数 (前年比)	240 (-19.2%)	200 (-16.7%)
全体加入率	89.7%	89.5%
会費 総額 (前年比)	972,700 (-4.6%)	953,200 (-2.0%)
市全体加入率	82.7%	82.7%



一般会員の加入率の減少には歴止めがかかる傾向が見られます。特別会員数は、前年度に引きついで大幅に減少しました。

平成17年度こそは、加入率・特別会員数ともに増加するよう、皆様方の一層のご理解とご協力をお願いします。

社協陵南支部の地域福祉活動

親子ふれあい映画会

目の不自由な少年が精一杯に生きる姿が感動的でした。

社協会員募集説明会

ご協力有難うございました。

地域介護講習会

体位変換、移動、清拭など
在宅介護に役立ちます。

朝日町の夏祭り協賛

いいわわ
おまえおこと
いいわわ

陵南ふれあいフェスティバル

三世代が一緒になってものづくり。

友愛訪問

笑顔が嬉しいですね。いつまでもお元気で。

チャリティーバザー

地域のみなさんの善意が沢山寄せられました。ありがとうございました。

各務原市社会福祉大会で表彰

(敬称略)

- ◎民生委員児童委員特別功労
山田 幸子(大伊木担当)
前田 勇(朝日町2丁目南担当)
吉山 久美(朝日町5丁目東担当)
- ◎民生委員児童委員功労
吉岡 愛子(朝日町1丁目担当)
福本多恵子(朝日町4丁目東担当)
- ◎優良民間奉仕功労
大伊木東近隣ケアグループ 大伊木西近隣ケアグループ

おめでとうございます

大伊木近隣ケアグループ

盛り沢山。心のこもった手作りの料理が

朝日町敬老の集い協賛

おいしい
食べたいな

大伊木町敬老の集い協賛

慈光園訪問

役員研修会

障害をもつ人への理解を深めました。

剣舞を見てもらったり、一緒にカラオケや手芸を楽しみました。

笑顔

役員研修会 (1月13日)

=障害をもつ人への理解を深めました=

社会福祉協議会活動の一環として、講師に〇さん・Tさん両氏をお招きし、役員研修会を開催しました。〇さん(父親)は語られました。子どもに障害があるとわかった時から「なぜ私の子供が」「なぜ私だけが」と悔やみ、苦しみ、子供が学齢期になると「子供と共に生きる決意」をし、子供が学校卒業後は「自立した生活への不安」「親亡き後の不安」を抱き、常に不安定な状況の中での生活を余儀なくされていること。

また、Tさん(母親)は後天的に障害をもつ子の親となられるも、看護師としての経験の中から自分自身を見つめ、困難な現実に立ち向かっておられることを切実にしかも淡々と訴えられておられました。お二人が、特に強調されて話されたことは「障害をもつことは特別なことではない、偏見をもたないで」と言うことを近隣の人々は解ってもらいたいと言うことでした。(文責 福祉推進員 鈴谷政城)